



START

事業の背景

ガラスの印刷をホームページに掲載したことで、注文が殺到！

ある時、ガラスに自社のロゴをプリントしてホームページに掲載。すると、飲食店や飲料メーカーなどからガラス印刷の問合せが殺到。同業社の多くが多品種小ロットをしていないこと、HPを活用している会社が少ないことが原因だった。しかし、自社では設備が足らず、受注を断るケースも。そこで、ものづくり補助金を活用し、プリントしたガラスを焼成する大型の電気炉と様々な素材にフルカラー印刷ができる特殊なプリンター及び木材、アクリルに彫刻やカットができるレーザー加工機を購入した。



ACTION

取組の内容

印刷以外の彫刻やカットも可能となり、顧客ニーズに対応

ガラスやプラスチック、金属など様々な素材への印刷が可能となったことで、注文の幅が広がった。また、以前の電気炉は数十本程度の小規模生産しかできなかったが、新たな電気炉は100本以上焼成できる3倍の容量となり、生産性の大幅な向上に成功した。土地柄、金属への印刷は同業が多くいるが、他素材はまだ少ない。現在は、消しゴムや木材、瓶への印刷など扱える素材の幅をさらに広げている。特にA3以下の小さな製品に注力し、効率を上げていきたいと思案している。



ABOUT

私たちについて

商圈を全国へと広げた スクリーン印刷屋

スクリーン印刷とは、金属加工物やプラスチック製品、ガラスなどの素材に直接印刷をする技術のこと。1984(昭和59)年創業の山上スクリーン印刷は燕三条の工業製品のプリントを請け負ってきた。2代目の現社長に変わってからはデザイン性の高いプリントや単価の向上を目指し、県外への営業にも注力。その戦略の中でホームページを作成し、ネット販売も強化するようになった。当時、同業者でネット販売に力を入れている会社は少なく、全国から問い合わせを貰うようになった。



FUTURE

今後の展開

利幅の残る自社製品で、 さらに販路を広げたい

今後はただの印刷の請負業者としてではなく、自社製品の開発にも力をいれたい。最近ではガラスプリントの他に購入したプリンターで、インクを密着させることが難しかったステンレス素材のミラーの裏面にフルカラー印刷することに成功し、好評を得ている。また、補助金を活用したことで、

短納期で小ロット且つ色数の多いデザインも可能となった。上記2点から新潟で活躍しているイラストレーターやデザイナーとコラボし、商品化することも視野にいれている。将来は展示会にも積極的に参加し、特にノベルティ業者との接点を増やしていきたい。

小さい会社が大手と取引できるのは、インターネットのおかげ。HPを通して県内外から問合せをいただいています。



代表取締役
山上 孝人氏

CASE

7

平成26年度

株式会社山上スクリーン印刷

印刷可能な素材を増やし、 多品種小ロットの需要に応える



Info

■ 印刷業

株式会社山上スクリーン印刷

住 所	新潟県三条市三貫地新田 880-4
T E L	0256-38-1438
U R L	https://www.silkscreen.co.jp



会社 HP